

| 順位 | 氏名（議席） | 発言の要旨 | 答弁者 |
|----|-----------|--|------------------|
| 21 | 川窪 吉男（29） | <p>1. JR東田子の浦駅北口橋上駅設置構想について</p> <p>東田子の浦駅の歴史についてですが、明治22年2月に新橋—静岡間が開通すると同時に、鈴川駅（現吉原駅）が開業しました。それから20年後の明治42年に今の富士駅が開業しました。その後、大正9年に元吉原東部、原町西部、吉永村、浮島村の皆さんが駅の設置の陳情をしましたができませんでした。月日が流れ、昭和13年に再度、陳情いたしました、折りしも日中戦争が勃発しかなわず涙をのんだわけでありませす。その後、終戦を迎え、昭和23年に地元の有志で柏原駅新設期成同盟会が結成され、幾多の困難を乗り越えた末の昭和24年9月15日に東田子の浦駅と命名され、夢かない開業されたのであります。</p> <p>現在では、1日1700人から1800人の利用者がおります。利用者の多くは家族等の送迎車等で来ています。しかし、北口がないため、駅の西側のパーパス横の踏切を通るか、東側の地下道を通って旧国道1号を経由しなければ駅にたどり着きません。しかし、この地下道は大雨のときは通行禁止となることもあり、北口がないため日々苦勞をしているのが現状です。朝の通勤、通学時では時間帯が重なり狭い駅前ロータリーは交通渋滞となり、近隣住民の生活にも支障が出ます。また、近年駅北側地域では宅地化が進み、一般住宅や集合住宅が増え、大型量販店や介護施設もできており、これらを利用する方も不便を感じています。このような状況の中、北口は必要不可欠であります。令和2年にはバリアフリー法が改正されました。そこで、以下お伺いいたします。</p> <p>(1) 今までの進捗状況と今後、JR東海と協議する予定はあるのでしょうか伺います。</p> <p>(2) バリアフリー法が改正されたことで、この北口設置検討の対応は変わるのか伺います。</p> <p>2. 丸火自然公園の現状と今後について</p> <p>丸火自然公園は、昭和46年に富士山麓の自然環境を保護するとともに、仲間とバーベキューやキャンプを楽しんだり、遊歩道（万葉コース、冒険コース）を利用したレクリエーションを通して、静けさの中で安らぎ、心身の緊張をほぐす等の保健休養機能を提供することを目的に整備されました。私は先日久しぶりに丸火自然公園を訪れました。休日ということもあり、駐車場には名古屋、大阪等の県外の車もありました。多くの方は遊歩道を散策を楽しんでいましたが、野鳥観察の方々（バードウォッチャー）と出会っていただきまして、同行させていただきました。しかし、道路沿いの立ち枯れ、特にナラの木、ナラ枯れが多く見られ、散策を楽しむ方々の安全に不安を感じました。周囲では、既に伐採され整備されているところもありましたが、まだ、遊歩道沿いには多くのナラ枯れの木があります。来訪者が安心して野鳥観察や散策ができるよう、そして、安らぎや非日常的な時間を過ごせるように整</p> | 市長 及び 担当部長 |

| 順位 | 氏名（議席） | 発 言 の 要 旨 | 答 弁 者 |
|----|-----------|---|--------------------------------|
| 21 | 川窪 吉男（29） | <p>備していただきたいと思います。そこで伺います。</p> <p>(1) 丸火自然公園の管理状況と利用実態はいかがか伺います。</p> <p>(2) 進行しているナラ枯れの現状と対策について伺います。</p> | <p>市 長 及 び 担 当 部 長</p> |